

分配算の基本練習

－基本その1－

氏名 ()

① A, B 2つの数があります。AとBの和は80で, AはBの3倍です。

このとき, Aは (), Bは () です。

② A, B 2つの数があります。AとBの和は87で, AはBの4倍より2大きいです。

このとき, Aは (), Bは () です。

③ A, B 2つの数があります。AとBの和は110で, AはBの5倍より4小さいです。

このとき, Aは (), Bは () です。

④ A, B 2つの数があります。AとBの差は36で, AはBの4倍です。

このとき, Aは (), Bは () です。

⑤ A, B 2つの数があります。AとBの差は37で, AはBの3倍よりも9小さいです。

このとき, Aは (), Bは () です。

⑥ Aは600円, Bは160円持っていました。CがAとBの2人に同じ金額ずつお金を渡したら, AはBの3倍になりました。

Cは2人に () 円ずつお金を渡しました。

分配算の基本練習

－基本その2－

氏名 ()

- ① A, B 2つの数があります。AとBの和は96で, AはBの5倍です。
このとき, Aは (), Bは () です。
- ② A, B 2つの数があります。AとBの和は80で, AはBの3倍より8大きいです。
このとき, Aは (), Bは () です。
- ③ A, B 2つの数があります。AとBの和は107で, AはBの4倍より3小さいです。
このとき, Aは (), Bは () です。
- ④ A, B 2つの数があります。AとBの差は48で, AはBの5倍です。
このとき, Aは (), Bは () です。
- ⑤ A, B 2つの数があります。AとBの差は100で, AはBの4倍よりも5小さいです。
このとき, Aは (), Bは () です。
- ⑥ Aは770円, Bは90円持っていました。CがAとBの2人に同じ金額ずつお金を渡したら,
AはBの5倍になりました。
Cは2人に () 円ずつお金を渡しました。

分配算の基本練習

－基本その3－

氏名 ()

① A, B 2つの数があります。AとBの和は69で、AはBの2倍です。

このとき、Aは () , Bは () です。

② A, B 2つの数があります。AとBの和は73で、AはBの5倍より7大きいです。

このとき、Aは () , Bは () です。

③ A, B 2つの数があります。AとBの和は147で、AはBの3倍より1小さいです。

このとき、Aは () , Bは () です。

④ A, B 2つの数があります。AとBの差は100で、AはBの3倍です。

このとき、Aは () , Bは () です。

⑤ A, B 2つの数があります。AとBの差は70で、AはBの7倍よりも2小さいです。

このとき、Aは () , Bは () です。

⑥ Aは420円、Bは170円持っていました。CがAとBの2人に同じ金額ずつお金を渡したら、AはBの2倍になりました。

Cは2人に () 円ずつお金を渡しました。

分配算の基本練習

－基本その1・解答－

- ① A, B 2つの数があります。AとBの和は80で、AはBの3倍です。
このとき、Aは (60), Bは (20) です。
- ② A, B 2つの数があります。AとBの和は87で、AはBの4倍より2大きいです。
このとき、Aは (70), Bは (17) です。
- ③ A, B 2つの数があります。AとBの和は110で、AはBの5倍より4小さいです。
このとき、Aは (91), Bは (19) です。
- ④ A, B 2つの数があります。AとBの差は36で、AはBの4倍です。
このとき、Aは (48), Bは (12) です。
- ⑤ A, B 2つの数があります。AとBの差は37で、AはBの3倍よりも9小さいです。
このとき、Aは (60), Bは (23) です。
- ⑥ Aは600円、Bは160円持っていました。CがAとBの2人に同じ金額ずつお金を渡したら、
AはBの3倍になりました。
Cは2人に (60) 円ずつお金を渡しました。

分配算の基本練習

－基本その2・解答－

- ① A, B 2つの数があります。AとBの和は96で、AはBの5倍です。
このとき、Aは (80), Bは (16) です。
- ② A, B 2つの数があります。AとBの和は80で、AはBの3倍より8大きいです。
このとき、Aは (62), Bは (18) です。
- ③ A, B 2つの数があります。AとBの和は107で、AはBの4倍より3小さいです。
このとき、Aは (85), Bは (22) です。
- ④ A, B 2つの数があります。AとBの差は48で、AはBの5倍です。
このとき、Aは (60), Bは (12) です。
- ⑤ A, B 2つの数があります。AとBの差は100で、AはBの4倍よりも5小さいです。
このとき、Aは (135), Bは (35) です。
- ⑥ Aは770円、Bは90円持っていました。CがAとBの2人に同じ金額ずつお金を渡したら、
AはBの5倍になりました。
Cは2人に (80) 円ずつお金を渡しました。

分配算の基本練習

－基本その3・解答－

- ① A, B 2つの数があります。AとBの和は69で、AはBの2倍です。
このとき、Aは (46), Bは (23) です。
- ② A, B 2つの数があります。AとBの和は73で、AはBの5倍より7大きいです。
このとき、Aは (62), Bは (11) です。
- ③ A, B 2つの数があります。AとBの和は147で、AはBの3倍より1小さいです。
このとき、Aは (110), Bは (37) です。
- ④ A, B 2つの数があります。AとBの差は100で、AはBの3倍です。
このとき、Aは (150), Bは (50) です。
- ⑤ A, B 2つの数があります。AとBの差は70で、AはBの7倍よりも2小さいです。
このとき、Aは (82), Bは (12) です。
- ⑥ Aは420円、Bは170円持っていました。CがAとBの2人に同じ金額ずつお金を渡したら、
AはBの2倍になりました。
Cは2人に (80) 円ずつお金を渡しました。

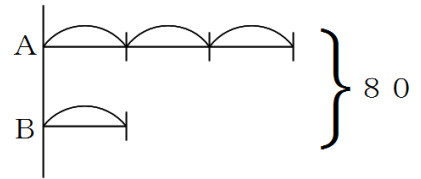
分配算の基本練習

—基本その1・解説—

- ① 80が, $3 + 1 = 4$ (山) ぶんになる。

$$80 \div 4 = 20 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

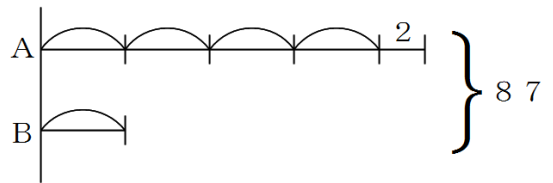
$$A \text{は} 3 \text{山ぶんなので, } 20 \times 3 = 60$$



- ② $87 - 2 = 85$ が, $4 + 1 = 5$ (山) ぶんになる。

$$85 \div 5 = 17 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

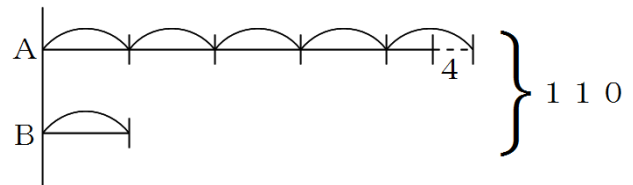
$$A \text{は} 4 \text{山} + 2 \text{なので, } 17 \times 4 + 2 = 70$$



- ③ $110 + 4 = 114$ が, $5 + 1 = 6$ (山) ぶんになる。

$$114 \div 6 = 19 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

$$A \text{は} 5 \text{山} - 4 \text{なので, } 19 \times 5 - 4 = 91$$

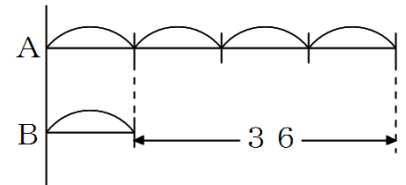


- ④ AとBの和ではなく, 差が36であることに注意。

$$36 \text{が, } 4 - 1 = 3 \text{ (山) ぶんになる。}$$

$$36 \div 3 = 12 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

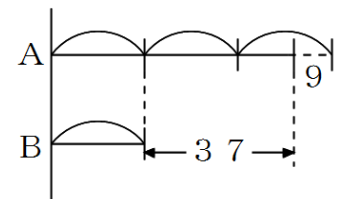
$$A \text{は} 4 \text{山ぶんなので, } 12 \times 4 = 48$$



- ⑤ $37 + 9 = 46$ が, $3 - 1 = 2$ (山) ぶんになる。

$$46 \div 2 = 23 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

$$A \text{は} 3 \text{山} - 9 \text{なので, } 23 \times 3 - 9 = 60$$



- ⑥ 同じ金額をもらっても, 差は変わらないことに注意。

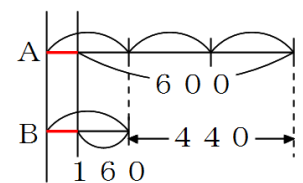
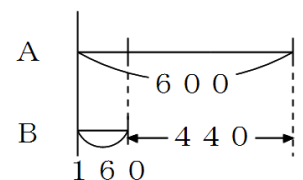
A 600円, Bは160円持っていたとき, 2人の差は,
 $600 - 160 = 440$ (円)。

Cからお金をもらっても (図の赤線の部分), 差は440円のまま。

このとき, AはBの3倍になったので, 440円が, $3 - 1 = 2$ (山)。

$$440 \div 2 = 220 \text{ (円)} \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

Bははじめ160円だったから, $220 - 160 = 60$ (円) を渡された。



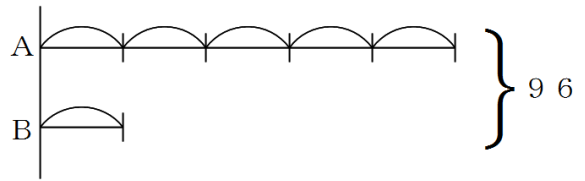
分配算の基本練習

—基本その2・解説—

① 96が、 $5 + 1 = 6$ (山) ぶんになる。

$$96 \div 6 = 16 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

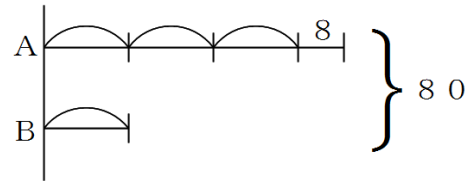
$$A \text{は} 5 \text{山ぶんなので, } 16 \times 5 = 80$$



② $80 - 8 = 72$ が、 $3 + 1 = 4$ (山) ぶんになる。

$$72 \div 4 = 18 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

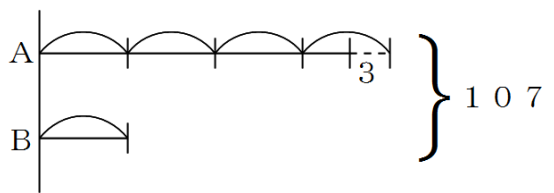
$$A \text{は} 3 \text{山} + 8 \text{なので, } 18 \times 3 + 8 = 62$$



③ $107 + 3 = 110$ が、 $4 + 1 = 5$ (山) ぶんになる。

$$110 \div 5 = 22 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

$$A \text{は} 4 \text{山} - 3 \text{なので, } 22 \times 4 - 3 = 85$$

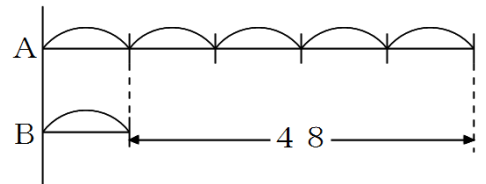


④ AとBの和ではなく、差が48であることに注意。

48が、 $5 - 1 = 4$ (山) ぶんになる。

$$48 \div 4 = 12 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

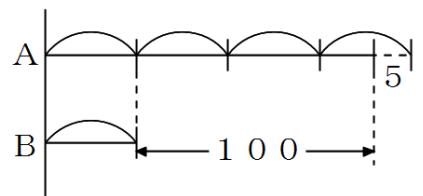
$$A \text{は} 5 \text{山ぶんなので, } 12 \times 5 = 60$$



⑤ $100 + 5 = 105$ が、 $4 - 1 = 3$ (山) ぶんになる。

$$105 \div 3 = 35 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

$$A \text{は} 4 \text{山} - 5 \text{なので, } 35 \times 4 - 5 = 135$$



⑥ 同じ金額をもらっても、差は変わらないことに注意。

A 770円, Bは90持っていたとき, 2人の差は,
 $770 - 90 = 680$ (円)。

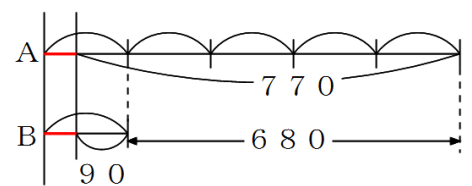
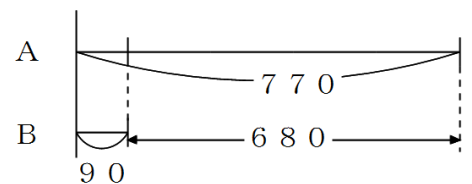
Cからお金をもらっても (図の赤線), 差は680円のまま。

このとき, AはBの5倍になったので, 680円が,

$5 - 1 = 4$ (山) にあたる。

$$680 \div 4 = 170 \text{ (円)} \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

Bははじめ90円だったから, $170 - 90 = 80$ (円) を渡された。



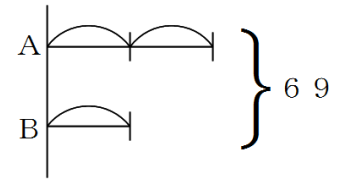
分配算の基本練習

—基本その3・解説—

- ① 69が、 $2 + 1 = 3$ (山) ぶんになる。

$$69 \div 3 = 23 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

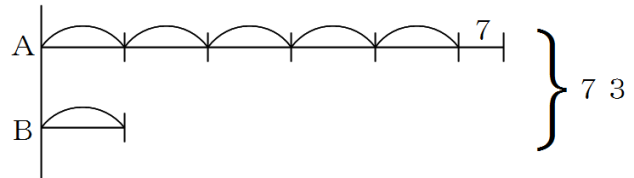
$$A \text{は} 2 \text{山ぶんなので, } 23 \times 2 = 46$$



- ② $73 - 7 = 66$ が、 $5 + 1 = 6$ (山) ぶん。

$$66 \div 6 = 11 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

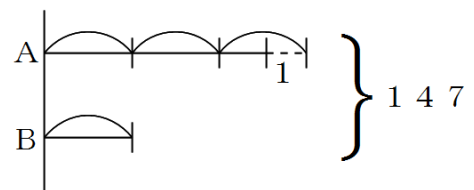
$$A \text{は} 5 \text{山} + 7 \text{なので, } 11 \times 5 + 7 = 62$$



- ③ $147 + 1 = 148$ が、 $3 + 1 = 4$ (山) ぶん。

$$148 \div 4 = 37 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

$$A \text{は} 3 \text{山} - 1 \text{なので, } 37 \times 3 - 1 = 110$$

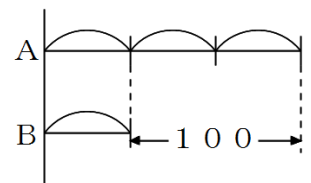


- ④ AとBの和ではなく、差が100であることに注意。

$$100 \text{が, } 3 - 1 = 2 \text{ (山) ぶんになる。}$$

$$100 \div 2 = 50 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

$$A \text{は} 3 \text{山ぶんなので, } 50 \times 3 = 150$$

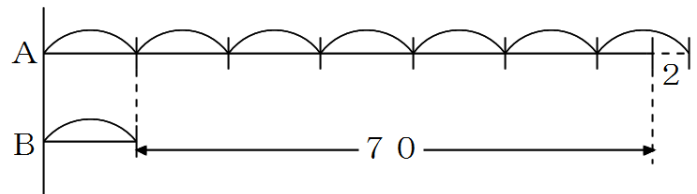


- ⑤ $70 + 2 = 72$ が、 $7 - 1 = 6$ (山) ぶんになる。

ぶんになる。

$$72 \div 6 = 12 \quad \dots \quad 1 \text{山あたり} = B$$

$$A \text{は} 7 \text{山} - 2 \text{なので, } 12 \times 7 - 2 = 82$$



- ⑥ 同じ金額をもらっても、差は変わらないことに注意。

A 420円, Bは170円持っていたとき, 2人の差は,

$$420 - 170 = 250 \text{ (円)}。$$

Cからお金をもらっても (図の赤線), 差は250円のまま。

このとき, AはBの2倍になったので, 250円が,

$2 - 1 = 1$ (山) にあたる。よって, Bも250円。

Bははじめ170円だったから, $250 - 170 = 80$ (円) を渡された。

